

MIRAIYU

Go forward into the future with technology. It' ll be the lubricant that connects people of the world.

縁を大切にし、世界を円滑にします

ミライユ化学



2022年度(第6期)

環境経営レポート

2022年10月～2023年9月

作成日 2023年11月20日

CONTENTS

- ミライユ化学のあゆみ
- トップメッセージ
- 環境経営方針・経営理念
- 組織の概要と認証・登録の対象組織・活動
- 環境経営システム
- 主な環境負荷の実績 環境目標・実績
- 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画
 - ・電力による二酸化炭素搬出量の削減
 - ・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減
 - ・一般廃棄物の削減
 - ・水道使用量の削減
 - ・溶剤の適正管理
 - ・オーダーメイド湯剤の開発と拡販
 - ・社内環境改善
- 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、訴訟等の有無
- 緊急事態対応の施行・訓練
- 代表者による全体の評価と見直し・指示



ミライユ化学の歴史

エコアクション21を認証・登録から4年経過しました。

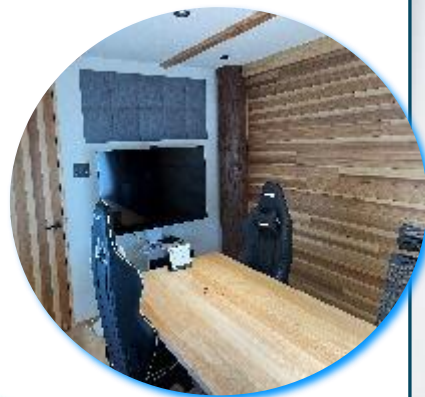
- 2003年 前身会社「株式会社ニッケン」廃業
 個人商店「ニッケン」を河合静雄が創業
- 2016年 「ニッケン」代表者に河合雄介が代表責任者に就任
- 2017年 「株式会社ミライユ化学」へ組織変更
 代表取締役には河合雄介が就任



金属加工油の自社製品「ミライユ」販売開始



- 2019年 ボイラー用重油販売及び充填作業開始
 二重窓に変更
- 2021年 「エコアクション21」認証取得
 「産業廃棄物収集運搬業」許可取得
 本社社屋改修



- 2022年 トイレ浄化槽
- 2023年 2階修繕工事



～ すべては仕事の先にある笑顔のために ～

心の満足度の高いサービスの提供を目指して。

ミライユ化学は油剤を通じて「お客さまのお役に立つ」ことを心がけ、生産現場に応じた最適な油剤を提案いたしております。

実際に使用している方へ直接話を伺うことから始まり、その現場に最適な性能の油剤の選定、購入後も快適に使用し続けるためのアフターケアなど、販売のみならず、油剤に関わる全般をサポートしています。

また、自社製品の製造販売を行い、「金属加工性能の向上」は元より「人体への安全性」「作業環境の快適性」さらには「地球環境保全」を視野に入れ、高品質で環境負荷の少ない原材料を厳選し、より良い製品をつくり出せるよう研究開発に取り組んでいます。

営業活動においては、費用面での満足度とともに、心の満足度を獲得できるよう努めております。

世の中が便利になり、人と人との関係が希薄になりつつある時代だからこそ、『心』の繋がりを大切にしたいと考えています。

～ すべては仕事の先にある笑顔のために ～

お客さまの喜びが自社の成長に繋がり、自社の成長が社員の幸せに繋がることを望み、社員全員が働きやすい環境づくりと、誇りを持てる会社となれるように努めます。

そして『縁を大切にし』、新たな分野へも挑戦し、さらなる発展を目指します。

日々の行動のひとつひとつが『世界を円滑にする』、その第一歩となることを信じて、社員一同邁進してまいります。

どうぞご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



環境経営方針・経営理念

経営理念『～縁を大切にし、世界を円滑にします』

「人生は人と人との縁で形成されている」という思いから、私たちは取引先、仕入先、自社社員、出会う全てのひと、ひとりひとりの「縁」を何よりも大切にしています。

この世界の人々と製品、サービスを通じて出会い、繋がり、良きパートナーとなり笑顔の連鎖で世界を円滑にしたいと願っています。

その実現のために、私たちは常に学ぶ心を持って、社員一丸となり「お客様の喜び」「地球環境保全」「社員同士尊重し合う組織作り」を目的とし未来に挑み続けます。

環境経営理念

私たちは「縁を大切にし、世界を円滑にします」という経営理念を実現するために、本業である金属加工油の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

お客様の環境負荷低減に貢献できる商品を効率よく、お客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

- 1.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2.創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3.廃棄口スをなくす等、廃棄物の発生抑制に努めます。
- 4.適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5.溶剤など適正管理に努めます。
- 6.オーダーメイド油剤によりお客様の生産性向上と悲通常を生じさせない取り組みを行います。
- 7.5S活動に取り組むことにより働きやすい職場の環境を作ります。
- 8.地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年10月1日

改定日：

代表取締役

河合 雄介

組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

- 1.事業者名
代表者名

株式会社ミライユ化学
代表取締役 河合 雄介
- 2.所在地

本社 大阪府八尾市大竹1丁目51番地
- 3.環境管理責任者
環境管理担当者
連絡先

代表取締役 河合 雄介
経理課長 河合 美沙
TEL : (072)941-2311
- 4.事業内容

工業製油剤製造、工作機械潤滑油販売
工作機械油剤メンテナンス



5.事業の規模

売上高 11,610万円

		本社
従業員	名	6名
延べ床面積	m ²	535m ²

6.事業年度 10月1日 ～ 9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名：株式会社ミライユ化学
- 対象事業所：本 社
- 活動：工業用油剤製造、工作機械潤滑油販売。工作機械油剤メンテナンス

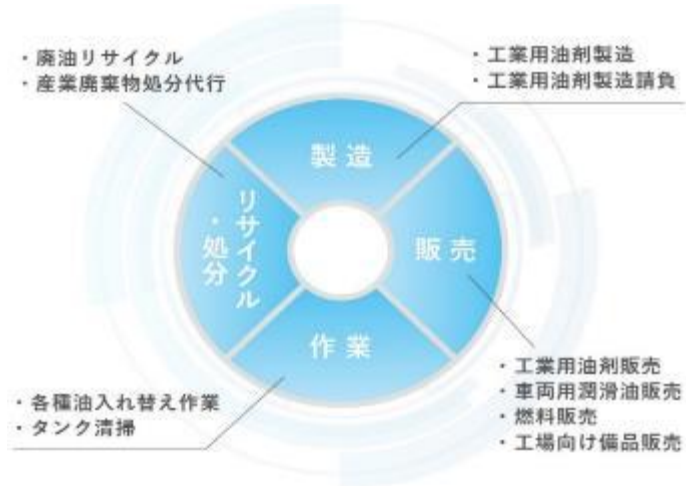
□事業や製品（商品）の紹介

自社製品「ミライユ」シリーズ

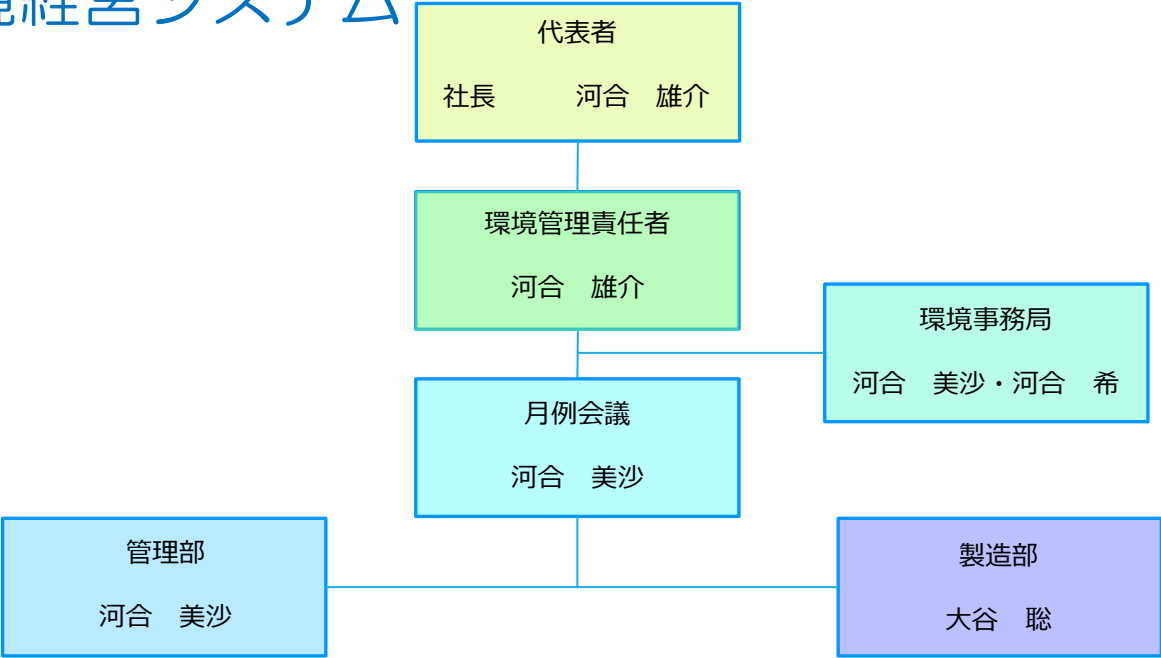
- ・金属加工油・潤滑油・防錆油・溶剤・灯油・重油
- ・グリース・自動車用オイル・金属加工油用添加剤・防腐剤
- ・工業用石鹼・工業用資材・加工油関連機材

主要取扱メーカー

- ・ENEOS・出光興産・コスモ油化ルブリカンツ・シェル・モービル・エバーケミカル工業
- ・AGC・ネオス・日本工作油・日本グリース・コスモ油化



環境経営システム



	役割・責任・権限
代表者 代表取締役社長 河合 雄介	・ 環境経営に関する統括責任
	・ 環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間等経営資源を準備
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境経営方針の策定・見直し
	・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・ 代表者による全体の評価と見直し、指示
	・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
	・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・ 環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、月例会議の事務局
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック実施
	・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・ 環境活動の実績集計
	・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
月例会議	・ 環境経営計画の審議
	・ 環境活動実績の確認・評価
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	18,675	16,105	13,759
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	336	314	207
産業廃棄物排出量	トン	15,520	17,100	5,650
水使用量	m³	99	72	77

※二酸化炭素排出係数 0.452 kg-CO₂/Wh ENEOS 20年度 調整後の係数

※二酸化炭素総排出量には、LPGと灯油の使用量も含まれます。

環境経営目標及びその実績

項目		年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2	3,343	3,310	3,498	×	3,277	3,243	
	基準年度比	2021年	99%	105%	×	98%	97%	
	原単位	kWh/千円	0.074	0.073	0.067	○	0.073	0.072
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,016	8,926	9,518	×	8,836	8,746	
	基準年度比	2021年	99%	106%		98%	97%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	12,360	12,236	13,017	×	12,112	11,989	
一般廃棄物の削減	kg	207	192	202	○	192	186	
	基準年度比	2021年	93%	98%		93%	90%	
水使用量の削減	m³	77	76	74	○	75	75	
	基準年度比	2021年	99%	96%		98%	97%	
溶剤の適正管理	行動目標（次項による）							
オーダーメイド油剤の開発と拡販	行動目標（次項による）							
社内環境改善	行動目標（次項による）							

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画



電力による二酸化炭素排出量の削減

無駄遣いをなくして消費電力量削減

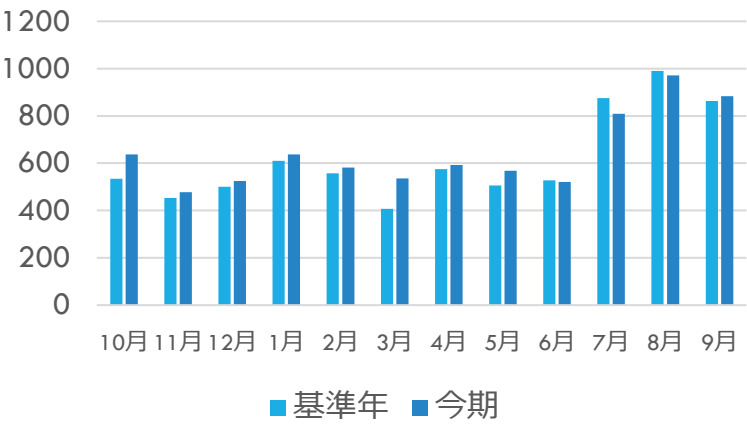
5期での社屋改修工事により盛夏期の使用電力は抑えられたが、新たな取引先への製造業務増加に伴い、電力使用量が増加しました。

日頃からできる取り組みとしては、1階工場部分を15分以上使用しない場合は消灯する・オフィス空調温度を適正に管理するなど、一人ひとりが日頃から気をつけられることを徹底することで社内全体のCO2削減に対する意識を統一し、会社全体で取り組めるよう意識しています。

数値目標と実績	達成状況
数値目標 目標 3,310kg-CO2 実績 3,654kg-CO2	×
取組計画	達成状況
・空調温度の適正化（冷房27℃ 暖房18℃）	○
・不要照明の消灯	○
・夏野菜の栽培	○



消費電力の推移



ミライユのCO2削減の取組み

無駄遣いをなくして消費電力量削減



1階工場部分を15分以上使用しない場合は消灯する・オフィス空調温度を適正に管理するなど、一人ひとりが日頃から気をつけられることを徹底することで社内全体のCO2削減に対する意識を統一し、みんなで取り組めるよう意識しています。また、夏には社内の空きスペースを有効活用して社内菜園も始めました。

次年度以降は

今年度は、社内での取り組みの徹底をすることを意識していましたが、来年度からは日々の業務や日常生活に少しの工夫で取り組めるような個人目標を定め、社員一人ひとりがCO2排出量削減に向けての意識を高め、多角的な視点を持つことで、更なる意識向上と新たな着眼点に期待したいと思います。

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減



環境に配慮したトラックの購入でCO2削減

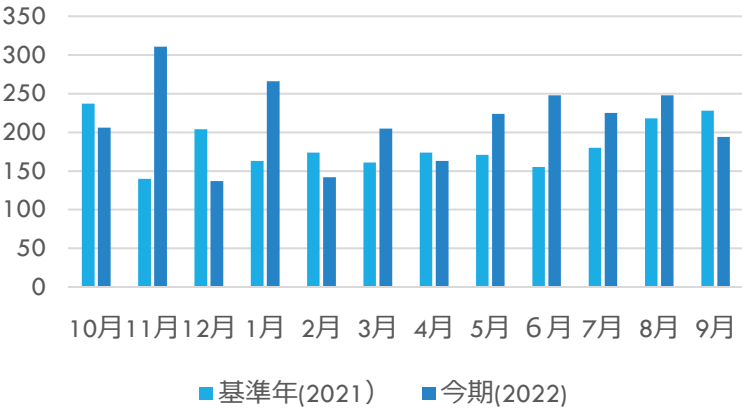
今年は期の途中ではありましたが、コロナ禍で納車が遅れていたDPF装置つきトラックが無事に届きました。この装置のおかげで一般的に燃料の燃焼効率が高くなるため、同じ距離を走行しても少ない燃料で済みます。これにより、昨年比1.5%の二酸化炭素の排出量の減少に成功しました。数値目標は2%減だったので、目標には1歩及びませんでした。

社有車にプラグインハイブリッド車を採用。

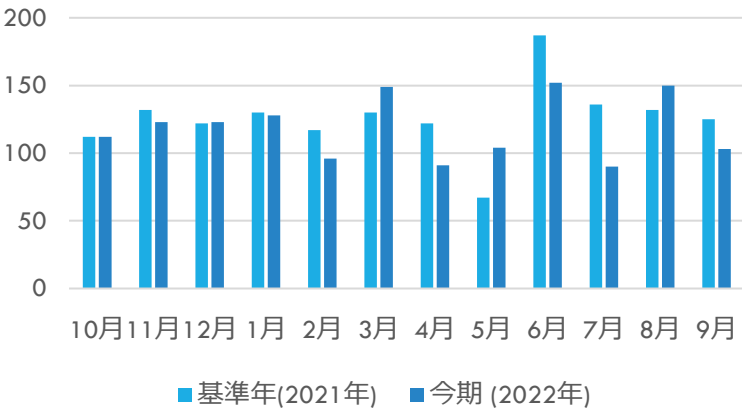


自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況
数値目標	×
アイドリングストップ	○
効果的なルートで配送	○
エコドライブステッカーを車内に貼付	○
走行距離の記録	×

ガソリン



軽油



DPF装置つきトラックを導入。
同じℓでより長い距離の走行が可能に！

次年度以降は

引き続きDPF装置つきトラックを活用するとともに、従来から行っている配達に向かう前に効率的なルートを発表者と配達担当者が検証してから納品先へ向かうことを徹底していきます。また、積み忘れによる再配達などが発生しないよう事前準備を怠らないよう、社内で声掛けを強化していこうと思います。

一般廃棄物の削減

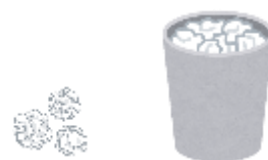


環境保全マニュアルの導入で社内の取り組みを徹底

今年は今まで社内でも実施されていた取り組みや、分別方法を誰もが確認できるようマニュアルを作り、研修を実施しました。これにより、社内での認識が共通のものになり、自分で自分の行動を振り返ることが可能になります。年に1度振り返りや、追加で記載できる事項がないかなどを確認し、毎年アップデートしていきたいと思います。



一般廃棄物の削減	達成状況
数値目標	×
分別の徹底	○
シュレッダー廃紙のリサイクル化	○
梱包材の再利用	○



●書類の分別について●

書類やチラシなどは、裏紙として利用可能なものかそうでないかで分別する。もちろん記載されている内容にも十分注意して分別すること。

●裏紙の利用について●

裏紙はコピー機の上から2段目（トレイ2）にセットされているので、社内で閲覧する文書や試し刷りなどは裏紙を積極的に利用しよう。

※パソコンから印刷する際は右記の手順で①印刷画面からプリンターのプロパティを選択し、芝罘紙画面で給紙トレイがトレイ2になっていることを確認してから印刷しましょう。

① 印刷

②

裏紙として利用不可

※1 裏紙として利用不可な書類は、シュレッダーにかけてから資源ごみとして指定曜日出すこと。

※社外郵便物が含まれている書類は必ずシュレッダーにかけること!!!

普段、パソコンやプリンターを使用しない社員にも、使い方がすぐにわかるようにマニュアル内にパソコンの操作法も写真つきで記載しました。

ゴミの分別方法もわかりやすく記載しています。担当者だけでなく、社内全体で気をつけていくことで環境への配慮を常に持てるようにしています。

4.容器包装プラスチック（金曜）

商品を入れる容器・商品を包む包装のみが対象で、プラスチック製の商品そのものは対象外なので注意する。

※1 プラマークがあるもののみ。

※洗い落とせない汚れなどがあるときは、⑤の可燃ごみへ。

※各自デスク下のゴミ箱はごみの収集日まで責任を持って分別すること。毎週に資源をリサイクルすることができます。

5.可燃ごみ（月・木曜日）

プラマークのないプラスチック製品も含む

※1 書類等の紙ごみはシュレッダーをかけて処分すること。

6.一般廃棄物（木曜日）

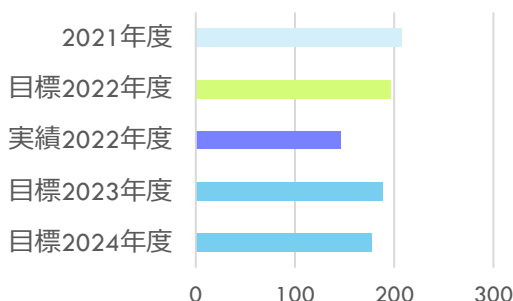
木・紙・布

※作業中にでたウエスなど液体が漏れないよう気をつけること

2階事務所のキッチン

1階階段下

廃棄物の推移



次年度以降は

引き続き、今期作成した環境保全マニュアルを活用するとともに、年度末には1年間の振り返りを実施し、次年度のマニュアルに反映させて行きます。何気なくやっていたことをしっかりマニュアル化し、振り返りの機会を設けることで、上からの一方通行ではなく、「意識して取り組む」「さらに工夫してできる取り組みがないかに意識を向ける」など、社員全員が自ら考えて提案できる仕組みづくりを目指します。

ウエス・軍手の再利用

家庭内で着古した衣類をウエスを使いやすいサイズにカットして再利用したり、汚れ具合によってウエスを別用途でリユースしたりしています。また、作業中に使用した軍手も洗濯して再利用するようにしています。

サンプルなどを発送する際に、梱包資材を再利用しています。緩衝材や資材を再利用することで、新たな資源の消費を減らし、廃棄物の削減につながります。再利用することで、廃棄物処理の問題や地球温暖化のリスクを軽減することができます。

梱包資材の再利用

水道水使用量の削減



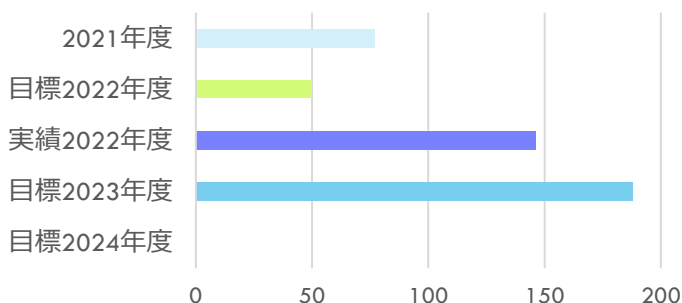
トイレ周りのリフォームで水量削減

社内全てのトイレを節水トイレ切り替え、1階の手洗いも自動水栓のものに切り替えたことが、目標達成の一つの理由だと思います。また、水栓がある場所には節水を心がける掲示をすることで「例えば短時間でも出っぱなしにしない」「水を大切に使う」という、意識が定着してきたことも大きいと感じています。

こまめに
節水



水道水使用量の推移



水道水の削減	達成目標
節水シールの貼り付け	○
トイレ手洗い場所の水量削減	○
トイレ自動水栓により水量削減	○

次年度以降は

水溶性の製品を製造する際に使用したウエスや作業で使った軍手などは、各部門の担当者がある程度汚れ物が溜まってきたら洗濯をするようにしていましたが、次年度以降は社内ですべての洗濯を取りながら、洗濯した前日に違う部署が洗濯をしていたなどの無駄がないようにリストなどを活用し、できる限り無駄を省いていければと思っています。



節水だけじゃない！

節水もさることながら、手洗い場に設置しているペーパータオルも1回の使用量をなるべく1枚でとお願いしています。コロナ禍を経験し、備え付けのタオル等の使用に抵抗がある人もいらっしゃると思いますが、紙も限りある資源なので、大切に使っています。



溶剤の適正管理

種類の異なる手袋やゴーグルを支給

取扱う製品の性質や作業内容によって使い分け、安全に作業できるよう数種類の手袋を用意しています。
また、各自にゴーグルを支給し、SDS（Safety Data Sheet/安全データシート）の表記に基づき、必要な際は装着して作業するように周知しています。



次年度以降は

異なる種類の手袋やゴーグルの配布は現状も実施しており、各自作業時にはSDSなどを参照し作業にあたるようにしていますが、万が一の着用し忘れなどを防ぐため作業にあたる前のチェックシートなどを作成し、着用と適正仕様を徹底していきたいと思います。



溶剤の適正管理	達成目標
有害性物質取り扱い時の注意の表示	△
容器の蓋の徹底	○
作業ミスによる使用量増加の抑制	○

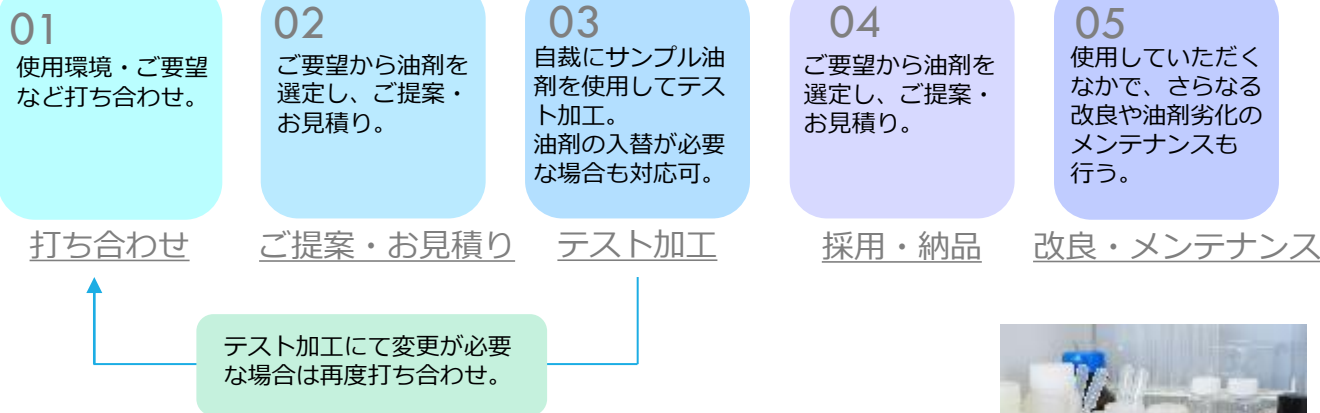
オーダーメイド油剤の開発と拡販

お客様ごとにベストマッチングな製品をご提案

設備や加工内容によって最適な金属加工油の配合は違います。
研究、検証、実験を繰り返し、お客様ごとにベストマッチングな金属加工油を提供しています。
また、環境を見直す観点からさまざまな規制が改定になり、製品に使用できなくなる化学物質も増えています。



オーダーメイド油剤の開発と拡販	達成目標
ホームページ拡充による販売拡大	○
展示会の企画出展	×



社内環境改善



収納の工夫・整理整頓で安全な職場環境づくり

工具類は見える収納で、普段使わない社員でもどこに戻せばいいの一目瞭然になり、作業場が散らかることが少なくなりました。（社員さんでDIY好きの方が作成してくれました！）
また作業台も手元が見やすいようにライトがついたり、業務がしやすいよう工夫がいっぱいです。

社内環境改善	達成目標
工具・在庫品置き場の表記	○
5S活動の目的と方法を検討する	○
作業場の鉄骨の塗装	○
床のペンキ塗り	○



熱中症対策で猛暑でも安全に

近年夏場の気温が異常なほど高く、1階作業場の作業環境も野外での作業ではないとは言え、厳しいものになっています。
コロナによる規制も緩和されマスク着用は任意になりましたが、猛暑が続く夏場でも安全に働けるよう熱中症対策として塩分タブレットや経口補水液を常備し、社員がいつでも摂取できるようにしています。



熱中症対策

- ・朝礼での体調確認
- ・塩分タブレットの設置
- ・経口補水液の準備
- ・こまめな休憩と声掛け
- ・室温をこまめにチェック

紙ストローの使用で地球に優しく

夏場お客様にお出しする飲み物につけるストローをプラスチックストローから紙ストローに変更しました。紙ストローは環境に負荷をかけず、リサイクル可能で分解性があります。海洋や土地の環境への影響が少なく、廃棄物の削減につながるというメリットがあります。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、控訴の有無

適応される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ・廃油等）
浄化槽法	浄化槽の使用
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機の設置
顧客要求事項	品質管理
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



緊急事態対応の試行・訓練



作業場から出火したと想定し、初期消化・避難訓練を実施しました。

普段使う機会のない消火器の使い方や場所・使用期限などを社内で確認し、有事の際には慌てず適切に使用できるよう年に1回社内全体で訓練しています。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日 2023年11月20日

コロナ禍から正常化し経済の活性化を期待しましたが、当社の顧客である金属加工工場はほとんどの会社が生産稼働率が下落している状況です。
さらに仕入れ原材料、副資材、輸送費など必要経費の価格上昇は引き続き発生しています。
製造業にとっては逆境と言える環境ですが、エコアクション21の取り組みの省エネ活動により経費を削減しつつ、環境負荷軽減の取り組みが直接的な取引に繋がるような製品、サービスの提供を考えていきたいと思いをします。

環境経営方針	変更なし	・ 変更あり
環境経営目標・計画	変更なし	・ 変更あり
実施体制	変更なし	・ 変更あり

ミライユ化学は、
生産現場の「未来」を創ります。

CREATE THE FUTURE



株式会社ミライユ化学